

環境ホルモンとしての マイクロプラスチック問題

私たちが毎日の生活で利用するプラスチック製品が、世界中の海洋汚染を引き起こしています。環境中に廃棄されたプラスチックは、紫外線などで細かく分解され海中を漂っています。東京オリンピックでオープンウォータースイムが開催予定の東京湾お台場近辺でもマイクロプラスチックは簡単に見つけられるほどです。

これらのプラスチックにはもともと使われている様々な添加剤に加え、海洋中の化学物質も吸着されます。これらの化学物質の中には環境ホルモン作用が疑われるものも含まれており、まさにプラスチックは環境ホルモンの運び屋となり、海洋生物や私たち人間を汚染します。

今回、マイクロプラスチック問題、環境ホルモン問題の両方で、第一線の研究が続けられている東京農工大学の高田秀重先生に御講演いただき、問題解決のために何が必要か、一緒に考えたいと思います。ぜひ御参加ください。

2:00~2:10	開会あいさつ
2:10~3:40	講演 高田秀重氏（東京農工大学農学部環境資源学科教授）
3:40~3:50	休憩
3:50~4:20	質疑応答・自由討議
4:20~4:30	閉会あいさつ

日時：
2018年1月21日（日）
午後2:00~4:30
会場：連合会館201会議室
東京都千代田区神田駿河台3-2-11

資料代：1000円
参加人数把握のため、ご参加希望の方は
ファクス(03-5875-5411)かメール
(kokumin-kaigi@syd.odn.ne.jp)でご連絡下さい。



参加申し込み書(Fax.03-5875-5411)

お名前

御連絡先 電話かファクスかメールアドレス

主催：NPO法人 ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議

〒136-0071東京都江東区亀戸7-10-1 Zビル4階

Tel.03-5875-5410 Fax.03-5875-5411

Homepage: www.kokumin-kaigi.org Email: kokumin-kaigi@syd.odn.ne.jp